

第33回 埼玉県理学療法学会 学生ポスターセッション 演題募集

埼玉県内の理学療法士養成校・施設における学生同士の交流を目的とし、各校の特色ある学びを紹介し合う場とします。実践の工夫や日々の学びを気軽に発表できるように、形式にとらわれず自由な内容でご参加いただけます。

不快なコミュニケーション		愛の境界線	
岩瀬小春 ¹⁾ 田中美沙希 ¹⁾ 渡辺真紀 ¹⁾ 保高楓恋 ²⁾ 町井桐子 ²⁾ 萩野清楓 ²⁾ 1) 東京家政大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 2) 東京家政大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻			
<ul style="list-style-type: none"> □ ハラスメントとは人を嫌がらせること □ パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、カスタマーハラスメントなど沢山あります □ 本グループでは恋愛におけるモラルハラスメントに焦点を当てました。 □ モハラは行う側に自覚ならびに罪悪感がないとされています。 □ 良かれと思って行った行動が相手を傷つけているかも、... □ 価値観の違いによって起こる恋愛でのトラブルにはどのようなものがあるでしょうか？ 			
私たちの身近で起こる曖昧な例 皆さんの意見をシールで貼ってください!			
恋人と位置情報共有 アリorナシ?	アリ	ナシ	
恋人が大人数での食事に行く アリorナシ?	アリ	ナシ	
恋人が異性とサシで食事 アリorナシ?	アリ	ナシ	
恋人と奢り奢られる関係 アリorナシ?	アリ	ナシ	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● ハラスメントは他者との価値観の違いや限度を超えた親切心によって起こりうる普通の生活においても自分が意図せず相手を傷つけてしまっている ● 本取り組みにおいても、グループメンバー間でも全員で意見が一致しないこともあり、感じ方や受け取り方は人それぞれ異なることを強く実感 ● 将来、臨床で多様な方と接する機会が多いため、患者様に限らず、他職種間でのコミュニケーションにおいても相手の価値観を尊重し、心地よい関係を構築していくことが重要である 		



(東京家政大学. 教育プログラムの一場面)

【学生ポスターセッションの例】

本学では、三菱みらい育成財団からの助成を受け、コミュニケーションを多面的に捉え、他者を尊重し主体的に関わる姿勢や行動を実践できる人材の育成を目指した独自の教育プログラムを展開しています。本プログラムでは、「不快なコミュニケーション」「異分野コミュニケーション」「心地よいコミュニケーション」の3つのテーマのもと、1年生がグループで取り組んだ成果をポスターにまとめ、掲示・発表を行いました。

【概要】

開催日

令和8年1月18日(日)

会場

ソニックシティビル

対象

理学療法士養成校・施設の学生

発表内容

特色ある教育・活動の紹介

ポスター規格

横90cm × 縦160cm 目安

演題登録締切

令和7年9月末(演題名のみ)

抄録提出締切

令和7年11月中旬(300~600字)

表彰

優秀賞1点/敢闘賞2点

詳細

学会HP

<https://saipta.com/>

